

日本協同組合学会 Newsletter

Vol.22 No.3(通巻54号)

2011年6月28日

～第31回大会プレ案内号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 村岡範男
〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1 JA全中教育部内
Tel : 03-6665-6260 Fax : 03-3217-5073
Eメール : coopstudies-jimukyoku@zenchu-ja.or.jp
ホームページ : http://coopstudies.jp

会長あいさつ

村岡範男(酪農学園大学)

原発事故の収束が一向に見通せないという不安を抱える毎日ですが、東日本大震災の被災地の復興を心から願って、日本協同組合学会では当初の予定を軌道修正して秋の大会を開催することになりました。多くの会員の皆様、また関心を持たれる一般の方々のご参加を心より望んでおります。

日本協同組合学会 第31回大会の準備を下記のようにすすめています

春の研究大会に引き続き、秋の大会も2012国際協同組合年全国実行委員会認定事業として申請します。

テーマ「東日本大震災・原発事故からの復興——協同組合は何を提言できるか——」

開催日時：2011年10月15日(土) 9:30～17:00

開催場所：神戸大学

【プログラム案】

会長挨拶	村岡範男(酪農学園大学)
実行委員長挨拶	小野雅之(神戸大学大学院)
座長問題提起	冬木勝仁(東北大学大学院)

第1報告 漁村・漁協への影響と復興の課題

濱田武士(東京海洋大)

第2報告 リスク対応と協同組合間協同の必要性

報告者調整中(みやぎ生協)

第3報告 東日本大震災と共済

宮地朋果(拓殖大学商学部)

第4報告 阪神淡路大震災における協同組合の経験と東日本大震災

富板能婦子(元 都市生活生協理事)

第5報告 原発事故と食料・資源・エネルギー問題に果たす協同組合の意義

高橋巖(日本大学)

尚、詳細及びお申し込みに関しては、7月末に改めてニューズレターでお知らせいたします。

日本協同組合学会 第31回大会個別論題報告の募集

第31回大会第2日目、10月16日(日)午前9:00~12:20に個別論題報告が行われる予定です。個別論題報告の申し込みは8月21日まで、報告要旨原稿提出の締め切りは9月17日です。多数のご応募を期待しています。

個別論題申し込みおよび要旨提出先は、以下のとおりです。

〒214-8571 川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学農学部 大江徹男

Tel:044-934-7126 E-mail: ohe@isc.meiji.ac.jp

【申し込み要領】

下記を明記して葉書またはメールで応募してください。

- ①報告の論題 (タイトル) ⇒出来る限り変更のないようにしてください。
- ②会員氏名
- ③所属機関
- ④パワーポイント使用の有無

【個別報告要旨原稿の書き方及び提出方法】

ニューズレター50号または学会ホームページを参照ください

協同組合憲章検討委員会報告

2012 国際協同組合年全国実行委員会のもとに設置された協同組合憲章検討委員会は、これまでに5回開催され、協同組合憲章の第1次案を検討してきました。委員長富沢賢治さん(聖学院大学大学院)、副委員長栗本昭さん(公益財団法人生協総合研究所)、幹事長土屋博さん(全国農業協同組合中央会)は皆さん当学会の会員です。

6月23日の第5回検討委員会で第1次案の第3草稿がまとまり、7月14日に開催される第2回2012国際協同組合年全国実行委員会に提出することとなりました。今後、半年ほど各組織での討議やパブリックコメントなどを経ることになります。第3草稿には付属文書として、ICAの「協同組合のアイデンティティに関する声明」を付けることになりました。また、内外の理解を深めるための解説書(ブックレット)を作成し12月に出版する予定です。

国際協同組合デー中央集会

震災復興のために、協同組合に何ができるのか。講演とパネルディスカッションで考えあいます。

日時: 7月14日(木) 14:30~17:00

会場: 全労済ホール スペース・ゼロ

* JR新宿駅南口 徒歩5分

* 京王線・都営大江戸線・都営新宿線新宿駅6番出口 徒歩1分

参加費: 無料

パネルディスカッション「震災復興のために協同組合に何ができるか」

コーディネーター: 小林正弥氏(千葉大学大学院)

パネリスト: 農協、漁協、生協からの代表

*被災地の現状報告や震災復興支援の取り組み報告をもとに、震災復興への今後の課題とその克服にむけて協同組合にできることを考えます。

主催: 2012 国際協同組合年全国実行委員会 日本協同組合連絡協議会(JJC)

